

足立区立興本扇学園
校長 稲葉 守朗様

足立区立興本扇学園 開かれた学校づくり協議会
会長 高橋 真佐子

平成 30 年度 学校関係者評価書

1 自己評価書全般について

小中一貫教育校としての実績とその特色を生かした教育活動を行っていることを評価したい。基礎的、基本的な学力の定着に向けて全校体制で取り組み、タブレットなどの視聴覚機器を活用した授業の工夫・改善や、補充授業などでの習熟度に応じた児童・生徒への指導が組織的・計画に行われていることを評価したい。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

重点的な取組事項—1 学力向上

達成度○（おおむね達成）は妥当と評価する。

基礎的・基本的な学力の定着に取り組み、小学校では目標を達成し成果をあげている。

中学校では目標を下回っていることから、学力向上を図るために補充教室を充実させ、個別指導を強化し、目標を達成させたい。

重点的な取組事項—2 小中一貫教育の確立

達成度○（おおむね達成）は妥当と評価する。

小中一貫教育校となり、13年目となる。教育方針に基づき、安定した学園生活が行われている。

○（オー）タイム・部活動・運動会・学園祭などで、中学生が主体的に活動し下級生への指導・助言を行っていることは高く評価したい。小中教員間の校内研究や交流授業が年間をとおして計画的に行われ、一貫教育校としての成果を上げている。

重点的な取組事項—3 キャリア教育の推進

達成度○（おおむね達成）は妥当と評価する。

「プログラミング思考を育てる授業」を校内研究テーマとし、主体的・対話的な学習の手法を取り入れ、児童・生徒が自ら進んで考え、表現できる能力の育成に努力した。発育発達に応じた思考力が、継続的に育成されることを期待する。

3 その他 学校活動全般について

小中一貫教育校として、その特性、特徴を生かした教育活動を行い、成果をあげている。学習面では、学習意欲を向上させて家庭学習の定着を図り、さらなる成果を期待したい。中学生のボランティア活動は積極的に行われており、学園の伝統となっている。学校行事や地域行事では、開かれた学校づくり協議会、PTA との連携も積極的に図られており、地域から学校への信頼感が高い。今後、国際理解学習を推進し、英語を通してコミュニケーションを円滑に図れる児童・生徒の育成を期待している。